

ごあいさつ

神奈川県立横浜旭陵高等学校

校長 秋山 晶子

平成 29 年 4 月に着任し、一年が経過しました。この春、教職員の異動もあり、新たなメンバーで平成 30 年度を迎えています。しかし、横浜旭陵高等学校の全教職員がチームとなり、教育活動を展開する姿勢は変わりません。「生徒のために」何ができるのか、何をするのか、何をしないのか、考えていきたいと思います。今年度もどうぞよろしくお願いいたします。

本校の教育テーマは「人と社会と未来につながる力」の育成です。まさに未来を見据えて、高等学校に何ができるか、生徒のためになる教育とは何かを追求することだと思います。

本校は単位制普通科の高校として平成 16 年に開校しました。昨年度から年次進行型単位制への第 1 歩を踏み出し、今年度 17 期生、16 期生の 2 年次が年次進行型で学びます。毎日ホームルームで担任や副担任と顔を合わせてクラスのコミュニケーションを深めます。

学習支援としては平成 28 年度より ICT 利活用授業研究推進校として 3 か年の指定を受け、主体的・対話的な学びを通して深い学びへと導く授業展開を研究・実践してきました。ICT を用いた機能的でわかりやすい授業や基礎から発展まで対応可能な 3000 種類もの講義をスマートフォンや PC で視聴できるシステム、サポートティーチャーがいわば旭陵学習塾として相対で丁寧に対応してくれる CO-STUDY LAB. など、様々な取組みがなされています。これらの学びのサポート以外にも、わかる・できるを実感する 100 分授業や多彩な校外学習など特色ある学びの仕組みがあります。主体的な学びを記録するポートフォリオの導入を通して思考力、判断力、表現力を身に付けるなど、高大接続改革への対応もおこなっています。

また、人と社会につながる力の育成として、きめ細やかな生徒指導も特色です。基本的な生活習慣や、社会生活を営むうえで欠かせないマナーやモラルを身に付け、自分の足でしっかりと歩んでほしいからです。さらに本校はスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーといった専門家の拠点校でもあります。

そして未来につながる力、これからの長い人生をどうデザインするかをキャリア学習として学びます。将来の目標を設定し、学校生活に生かすための「キャリアの時間」が各年次に 1 単位ずつ配置されています。自己理解を深め、豊かな人間性を涵養し、自己実現へつなげます。担任とそれぞれの分野ごとのキャリアカウンセリング担当者を設け、個々にさまざまなアドバイスをを行うほか、外部機関と連携した校外講座やインターンシップなど将来設計につながる学びも展開されています。

生徒の皆さんには、このような仕組みを十分理解し、活用することで自らの能力を大きく伸ばし、夢を実現してほしいと思います。